

平成30年3月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「鉱物性タール及び粗製薬品」などは増加したものの、「有機化合物」、「自動車」などが減少したことから、対前年同月比16.4%の減少となった。また、輸入額は「原油及び粗油」などは増加したものの、「石油製品」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同8.3%の減少となった。これにより差引額は、568億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	686億円	▲16.4%	1,254億円	▲8.3%	▲568億円	+3.8%
	2カ月連続の減少		9カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 鉱物性タール及び粗製薬品	46億円	+63.0%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	703億円	+4.5%
		(2) 石油製品	87億円	+7.0%			(2) 石炭	58億円	+52.5%
		(3) 半導体等電子部品	22億円	+9.0%			(3) 非鉄金属鉱	9億円	+477.2%
	減少品目	(1) 有機化合物	19億円	▲69.5%		減少品目	(1) 石油製品	2億円	▲97.3%
		(2) 自動車	2億円	▲95.4%			(2) 液化天然ガス	222億円	▲21.1%
		(3) 科学光学機器	17億円	▲68.4%			(3) 液化石油ガス	43億円	▲34.4%
	地域別動向		増加：西欧など 減少：アジア、北米など		地域別動向	増加：中東欧・ロシア等など 減少：北米、大洋州など			

（参考）ドルレートは、106.56円（前年同月比6.3%、7.16円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。